

この街に、なくてはならない人たち——

地域を支える市民活動について



本市には、公園の美化活動を行う団体や、乳幼児のいる家庭を応援する団体、子どもの登下校を見守る団体など、さまざまな市民団体があります。市長対談
今回号では、このような団体に所属し、日頃から細やかな心配りを地域に向けている人たちをお招きし、地域を支える市民活動について上中居岡西公園でお話を伺います。

自主的に活動している美化活動

市長 本市には、地域を守る大事な役割をさせていただいている方がたくさんいらっしゃいます。皆さんは、地域を本当に良くしたいという気持ちを持って活動くださっていて、利益があるわけではないんですよ。それでもやっていただいている活動に光を当てたいと思い、さまざまな分野の方にお越しいただきました。朝、散歩をしていると、きれいな公園を見かけます。草も刈ってあって、掃除もされていて、誰かがきれいにしてきているんだなって考えるんです。市が業者に依頼してきれいにしていくわけではなく、実際は皆さんのようなボランティアの方にやっていただいているんですよ。本当に頭の下がる思いです。設楽さんは週に何回くらい清掃活動をしているのですか。

設楽 月曜日から金曜日までラジオ体操をしていて、その時に公園の清掃の活動をしています。13年前にこの上中

居岡西公園でラジオ体操の会が立ち上がった時に、草を抜いたり掃き掃除をしたりするのが始まりです。今でも会の何人かは365日、ラジオ体操と清掃活動をしています。

市長 誰かに言われたのではなく、自発的にやってくれているんですよ。

設楽 そうなんです。私もお願いしたことはないんですけど、いつも草が1つも生えてないんです。真夏になると細かい草が増えるんですが、ラジオ体操が終了した後、40人くらいで、1人5~10本くらいずつ草を抜いています。

市長 高崎の街はビューティフルってよく言われるんですよ。日頃から設楽さんのような公園愛護会の方や環境保健委員さんが活動を続けてくれているおかげだと思っています。皆さんの取り組みに協力できるように「まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画」を令和5年から始めました。地域の小さな公園でトイレが汚いとか、そういう目が届きにくいところを市が支援していきたいと思っています。木村さんは長寿会で活動されているとのことですが、お年を

召した方が、元気に活動していただくのはありがたいことです。木村さんのところはどんな活動をしていますか。

高齢者の健康づくりと子育て支援

木村 私のところは、約60人で活動をしています。旅行に行ったり、文化祭に参加したりして、一緒に活動をした仲間から楽しかったよと言われるとうれしい気持ちになりますし、元気になります。体を動かすグラウンドゴルフや輪投げもするので、健康づくりにも役立っています。長寿会では、これまでお付き合いのなかった方も話せて楽しいですね。

市長 社会を良くするために、お年を召した方の経験や知恵を借りたいと思い、長寿会の皆さんには、夏休みなどの長期休業期間に子どもを預かる「子どもの居場所づくり事業」にも協力してもらいました。

木村 役に立つことがあればと思って、私も居場所づくり事業に夏、冬、春と毎回参加させていただきました。子どもたちと輪投げや折り紙をして、楽しい時間を過ごせました。

市長 いろいろ手伝ってもらっているのですが、基本は長寿会の皆さんが元気になってもらいたいと思っています。そこで、長寿会の方が行う活動の促進や、健康づくりのために必要な経費を支援する取り組みを始めました。高齢者の方が元気に安心して暮らせる街にしたいといつも思っています。安心して暮らせる街づくりでは、子育て世代へのサポートもそうだと思います。清水さんは、母子等保健推進協議会（以下「母推」）で活動していただいているのですが、赤ちゃんが生まれてどのくらいから家庭訪問しているのですか。

清水 生まれて2~3か月の間でご自宅に「赤ちゃん訪問」をしています。その後、9か月から1歳1か月ぐらいうちに「1歳児訪問」があるので、1人のお子さんに2回訪問させていただきます。生後2~3か月くらいだと、おしゃべりする相手がお父さんしかなくて、「大人と話すのは久しぶりでうれしい」って赤ちゃんのお母さんが言ってくれたりしますよ。

市長 子育てって孤独なところがあるんですよ。お母さんの毎日の生活が育児だけになって、自分のための時間がなかなか持てなくなり、子育てを負担に感じてしまう。こう

いったことを減らすため、理由は聞かないで子どもを預かる「子育てなんでもセンター」や、困った時にヘルパーを派遣する「子育てSOS サービス」を始めたんですよ。
清水 お母さんの中には、「本当に孤独で。やっと来てもらえた」みたいな感じでお話をしてくださる方もいます。私たちも子育てなんでもセンターなど、子育てに関する市の取り組みをどんどん紹介するようにしています。他にも防災のことやいろんなサークルのことを、母推で作るチラシに載せて配っています。

防犯と交通安全を支える「見守り」の力

市長 内田さんのような交通安全指導員さんの活動にも本当に感謝しています。雨の日も風の日も、子どもたちの登校を見守ってくれる。天気の良い日は大変ですね。

内田 雨とか風とか寒い日は厳しいです。でも、うれしいこともあります。冬の朝に高校生が暖かい飲み物を持ってきてくれたり、小学2~3年生の子が自分の家の庭先で採れた花を持ってきてくれたり。何より、おはようって大きな声であいさつしてくれることがうれしいんです。そういう時「あー、交通指導員をやっている良かったな」と思います。それで私は20年やっています。

市長 そうですね。私も、朝散歩している時に活動の様子を見ると、ありがたいと感じています。指導員さんは何時頃からいらっしゃるんですか。

内田 活動時間が毎朝7時15分から8時10分くらいまでなので、お勤めの方には難しく、指導員は自営業や農家の方が多いですね。気持ちよくやってくれるのでありがたいです。

市長 佐藤さんたちが所属している防犯協会の方々は、夜遅くまで街を歩いて、パトロールしていただいて、ありがたいことですよ。

佐藤 安心した生活を送るために、地域での防犯活動は、地域の連帯感が重要だと思っています。今は、市内に防犯協会が50支部あって、約1,100人が日々防犯活動をしています。箕郷支部では青色回転灯を備えた自動車「青パト」が12台あり、それでパトロールしています。

市長 防犯協会の方の活動時間は、だいたい夕方が多いんですか。朝の通学のお手伝いもしていると伺いました。

佐藤 私たちは、月に4回、夕方6時から7時くらいに活動しています。その他に、4月始めの新1年生の見守り対応として、役員が4~5人で1週間一緒に登校したり、夕方の下校時に見守り活動をしたりもしています。

市長 皆さんのように、長年地域のために活動してくれていることが安心して暮らせる街づくりにつながっています。市としても、安全、安心な街づくりに努めていきたいと思っていますので、これからもご協力をお願いいたします。今日はありがとうございました。

一同 ありがとうございました。



富岡 賢治市長

自主的に活動し、地域を守る大事な役割を担う人々と協力しながら、高齢者や子育て世帯など、市民が安心して暮らせる街づくりを進めている



設楽 多恵子さん

公園愛護会所属。上中居岡西公園の開園時より13年に渡り、毎朝のラジオ体操や除草、清掃活動を精力的に行い、公園の美化に尽力している



木村 安子さん

下中居町長寿会会員。本市で実施した、夏休み・冬休み・春休みの小学生の居場所づくり事業に従事。趣味はグラウンドゴルフ



清水 恵美子さん

市母子等保健推進協議会会長。平成10年から同協議会員となり、今年で29年目を迎える。仕事や孫の世話なども行いながら活動している



内田 潤一さん

市交通安全指導員高崎地区隊長。長年勤めた会社からの独立を機に、地域に貢献するため活動を開始した。指導員活動20年表彰を受賞している



佐藤 孝夫さん

市防犯協会理事長。昭和47年から箕郷地域の防犯活動に携わり、住民の防犯意識の高揚や防犯体制確立に尽力。安心して暮らせる地域づくりに貢献している

対談の様子を動画でご覧いただけます

